

2021 みんなの「え〜ところ」を つくります!



グローバル化の進展においてダイバーシティ(多様性)への理解は不可欠です。

私たちは「PREXビジョン2030」の中で

「関西の国際化を支えるダイバーシティの実現」という目標を掲げています。

途上国からの研修参加者だけでなく、日本にいる留学生や外国人社員、
そして、そういう人々に関連する機関・企業等がお互いにつながり理解しあうことや、
新たな関係性が生まれビジネスやイノベーションにつながることを目指します。



左: PREX「ベトナム人リーダー育成研修」に参加した受講生 クアンさん。

中央: 東尾メック株式会社を訪問したベトナム人リーダーの皆さん。

右: ABCプラットフォーム

「Global Talent & Business Meetup in Da Nang City」での様子。(2019年10月開催)



みんなの「え〜とこ」をつくります！

出会うとこ、知るとこ、つながるとこ…
 そんな、「とこ(toco)」=場(オンラインカフェ)
 それが「e-toco(え〜とこ)」です。

「toco」… to cooperate(協力する)
 to collaborate(共働・コラボする)
 to cocreate(共創する)
 to connect(つながる)



国際交流部 瀬戸口です。

「PREXビジョン2030」の達成のため、私たちの身近にいる多様な人々が出会い、つながって、共働や共創できる場を作りたいと考えました。

withコロナで活動が続けるために始めたのが<e-toco>。

チームメンバーの前田智帆職員は、個人的にオンラインでの交流や情報発信の経験があったので、彼女のアイデアやノウハウを借り、この企画を始めました。YouTubeやFacebookでのライブ配信という全く初めてのことに戸惑いながらも、日本をはじめ世界の現状が、できることをやってみよう！という勇気を与えてくれたと思っています。

これからは留学生や日本の企業で働いている外国人社員、また日本企業の方にも参加していただける交流の機会も設けていきます。

e-tocoの思いは前頁の通りです。オンラインでつながってもらえる場を作ること。そして参加した皆さんが「え〜とこ」やったなあ、と思ってもらえることを目指します。

e-tocoでこれまでにお届けしたもの(11月末現在)

#1 PREX紹介動画〜ミルクボーイ漫才風〜(YouTube)

#2 e-toco紹介 (Facebookライブ配信)

#3 グローバル人材〜PREX職員編〜 狭間職員 (Facebookライブ配信)

#4 グローバル人材〜PREX職員編〜 佐賀職員 (Facebookライブ配信)

●Facebookで配信した動画は「PREX YouTube チャンネル」でもご覧いただけます。



「PREX Facebook公式ページ」



「PREX YouTube チャンネル」

日本に埋もれる多様な人や活動に 光を当て、つなぐ場にしたい。

国際交流部の前田智帆です。

大学で国際関係を学んだり、JICA海外協力隊に参加したり、PREXで働く中で、グローバルに活躍する友達がたくさんできました。在日外国人も含めてです。でもその人が持つ思いや貴重な経験、苦労等、届かない声があって、つながらない縁があることがとてももどかしく、産官学多方面につながるのあるPREXだから橋渡ししできることがあるのではないかと思います、「e-toco」の開催を提案しました。

今はまだ始めたばかりでリーチ数も少なく、発信するだけになっていますが、この e-tocoが、みなさんの、「どうしたらいいかな」「よし、やってみよう!」を支えたり、「多様ってすばらしい!」と思える人が集まる、オープンイノベーションの種をまく活動になればと思っています。

「うちの社員を、団体を、友達を紹介させて!」「こんな方とお話してみたい!」

そんなお声がけもお待ちしております。一緒に発信していきましょう。

皆様、ご視聴、ご協力お願いします。

〜第2回目にゲストとして参加した狭間職員の感想〜

視聴者の皆さんに、『え〜とこ』やったなあって思ってもらえることを願って参加しました。自分の原点や、PREXに入ったきっかけを知ってもらえる機会はあまりありませんが、e-tocoではこうした話ができたとします。

TALENT & BUSINESS

国際人財活用ネットワーク交流会

 in Da Nang City 

**留学生の活躍のための、
産官学とのネットワーキングが
私のライフワークです。**

学校法人エール学園 キャリア支援室室長 西村康司氏



PREXはビジョンで、ダイバーシティの実現を目指しています。その一環で、アジアビジネス創出プラットフォーム(ABCプラットフォーム)人材育成・活用部会に参画し、人材育成分野でのネットワーキングに取り組めます。部会のプロジェクトマネージャーであるエール学園の西村さんに、思いを伺いました。

学校法人エール学園 キャリア支援室室長 西村康司です。

大きな夢をもって留学してくれる若者をしっかりと育成し、日本で活躍してもらうことはとても大切だと考えます。信頼関係、人物重視に着目し、特にインターンシップからの採用に焦点をあて、長期のインターンシップを学校のシステムに組み込みました。企業側も、人物評価と実践的な教育をした人物を優先的に採用できるので評価していただいています。このような仕組みを運営していくためには、企業との連携は必須で、企業と留学生が直接出会える場「国際人財活用ネットワーク交流会」を2012年から始め、今では日本だけでなくベトナムでも開催しています。留学生が活躍できる産官学が連携するネットワークを拡大することが私の体が動かなくなるその日まで続けたいライフワークです。

西村氏のロングインタビュー記事はこちら→



ABCプラットフォームとは

ABCプラットフォーム「人材育成・活用部会」(関西経済連合会主催)は、ASEAN7か国を中心とした中核人材の育成と活用を通じ今後のアジアと関西の経済活性化等にご貢献する活動をしています。ベトナムではGlobal Talent & Business Meetupをベトナムの優秀な大学生の就労支援を目的として、産官学で連携して開催しています。国内では前述の国際人財活用ネットワーク交流会を共催し、奇数月に開催するABCプラットフォーム定例会セミナー&情報交換会を通じて先進事例や特定技能などの課題や活用事例などセミナー形式の学びとブレイクアウトセッションによる情報交換による学びと実践を提供しています。また海外の日本語教育機関との連携もあり、現地の生の情報が得られる機会の提供も実施しています。(エール学園 西村)



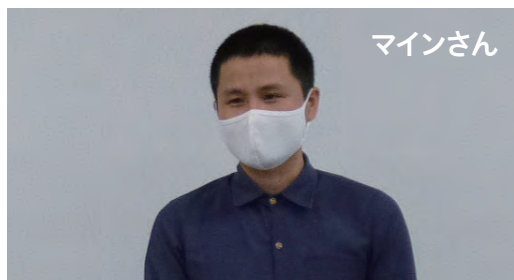
2018年10月開催
「Global Talent
& Business Meetup
in Hanoi」



ABCプラットフォーム→

研修でも、えーとこ作りたい。 ～ベトナム人リーダー育成研修～

コロナウィルスの感染拡大防止のため参加者は4名で実施しました。10日間の研修を通じて、参加者の皆さんはそれぞれに学びを深められました。学びがその後の業務にも活かせるよう、研修最終日の成果発表会にはオンラインで所属企業の方にも参加いただき、激励コメントをいただきました。



メインさん

●畑ダイカスト工業株式会社 グエン・ゴック・メインさん

この研修に参加して、経営理念は会社の成長に大切なものだとう理解できました。会社に戻ったら、新入社員に経営理念を伝えたい。また、5Sや改善活動はお金をかけなくても身の回りの小さなことから、みんなで取り組むことが重要だということも理解できました。これからは自分の目標を立てて働きやすい職場を作りたいし、知識や技能を後輩に伝えたいと思います。



畑社長

●畑ダイカスト工業株式会社 社長 畑浩基氏

メインさんへのメッセージ

当社では2030年にベトナムに工場を作るということを考え、メインさんも一緒に計画を考えました。研修で学んだことを実践して、よりよい会社を作るのを手伝ってください。



PREXベトナム人リーダー育成研修。
株式会社山田製作所訪問時の様子



田賀さん



楊 淼さん

地域の国際化、多様化と向き合う人たち。

PREXでは、新ビジョンの下、在日外国人にも目を向けた活動をスタートし、在日外国人支援に携わる方々にお話を聞きました。技能実習生の受け入れ機関、日本語ボランティア、地域おこし協力隊の方などです。

中でも、地域の在日外国人と日本人を繋ぐ活動をしているお二人の活動が印象に残っています。

①岡山県のやかげ町屋交流館で働く 田賀朋子さん。

外国人を雇用している企業の方々のサポートを得ながら、在日ベトナム人の方と地域住民の方の両方が楽しめるベトナム祭りを開催。

②NPO アジア人文文化交流促進協会の代表をしている楊 淼 (YANG MIAO) さん。

地域の中で、外国にルーツを持つお母さんたちのために、子育てでつまづく日本の習慣や行事のお悩み相談、ヒントの紹介等。

「郷に入れば郷に従え」とよく言われますが、私たち日本人からも歩み寄ることで、お互いぐっと生きやすくなるのではないのでしょうか。

(前田智)

私が紹介したい国。

今回は、山内職員がドミニカ共和国を紹介します。



ドミニカ共和国 日本語学校の行事・盆踊り大会と運動会

「どこにある国やったっけ?・・・アフリカ??」

国際交流部山内です。PREXに入局する前に、JICAの日系社会青年ボランティアとして、ドミニカ共和国に滞在していましたが、派遣されることが決まったと伝えたとき、大半がこんな反応でした。

ドミニカ共和国はカリブ海でキューバの次に大きな島国で、1492年にコロンブスが上陸。その後、スペインの初の植民地として現在の首都、サントドミンゴが建設されたという歴史があります。野球が人気でメジャーリーガーを多く輩出しているので、野球ファンの方はドミニカ共和国といえば野球、とすぐに思い浮かべられるかもしれません。

以前から関心があった日系社会ボランティアに応募したのは、勤めていた会社の事業所が廃止になってしまったことがきっかけでした。学生の頃から中南米の歴史や文化に興味があり、まだ訪れたことがない南米大陸への憧れがあったのですが、派遣先はカリブ海に浮かぶ島国、ドミニカ共和国。これも何かの縁と、2年間この国の空気を目一杯吸い込んでみました。

私が活動したのは日系人子弟のために設立された日本語学校で現地の先生方と一緒に学校運営に携わりました。戦前戦後にかけて国策として実施された中南米への移住。ブラジルやペルーなど南米の国を思い浮かべる方が多いかと思いますが、カリブ海に浮かぶドミニカ共和国にも1954年から移住が開始され、海を渡った方々は多分に漏れず数々のご苦労、困難を経て今ではすっかり現地社会に根を張っておられます。

次世代にも日本の文化や日本語を大切にすることを続けてほしい、というおじいさん、おばあさんやご両親の思いに少しでも役立てれば、と自分が持っているものは全て子供たちに伝えてきたつもりです。

1年中半袖で過ごせる気候が影響してか、いつも明るく朗らかで、ストップをかけなければ永遠に喋り続けているのでは?というほどおしゃべり好きなドミニカ人の性質も持ち合わせた子供たちが、将来、日本とドミニカ共和国の架け橋となってくれることを楽しみにしています。

「カリブ海の島国やったね。」

私がドミニカ共和国に行ったことがきっかけで、家族、友人、知人がこの国がカリブ海にあること、そしてそこにも日系社会があることを知って、関心を寄せてくれました。美しい海に囲まれたこの国のことを少しずつでも紹介することで、ドミニカ共和国でお世話になったたくさんの方々への恩返しの一つになれば、と思っています。(国際交流部 山内)

上本町SDGs大学

今回は共催いただいている「クレオ大阪中央」からのメッセージをご紹介します。



SDGsの輪が、どんどん広がっています。

クレオ大阪中央は、PREXと同じく大阪市の上本町にあります。

2019年、SDGsを「自分ごと」としてとらえて行動する人を増やすことを目的に、SDGsに関する様々な情報を地域から発信・共有する「上本町SDGs大学」をPREXと共催でスタートしました。

上本町SDGs大学では、SDGsに関する活動をしているゲストスピーカーに話題提供をしていただき、参加者同士がディスカッションを通してともに学び合う、緩やかなネットワークの場を提供してきました。開催にあたり、PREXと相互のチャンネルをシェアすることで、より多くの方にSDGsレンズを通して、ジェンダーの課題に気づききっかけにいただけたと思います。

クレオ大阪では、SDGsの5番目の目標である「ジェンダー平等を実現しよう」を中心に、SDGsの担い手としての次世代・女性のエンパワーメントや学びと実践の場の提供を行っています。また、情報誌クレオで、SDGsに積極的に取り組む大阪の学校を紹介したり、地域の方とともに作る館のおまつりで、フードドライブを行ったりと、多角的に地域とつながりながらSDGsへの取り組みをすすめています。

これからもPREXと協働し、さらにSDGsの目標達成に取り組む地域発のネットワークの輪を広げていきたいと思います。また、今年初めて実施したオンラインでの上本町SDGs大学では、今まで距離的に参加が難しかった方にも参加していただくことができました。今後も、様々な方とともにSDGsについて考える機会として、より一層、幅広い視野で取り組んでまいりたいと思います。（クレオ大阪中央 花岡 南）

※クレオ大阪：大阪市の男女共同参画を目指す活動とネットワークの拠点

読者の皆さんは、SDGsを「自分ごと」としてとらえ、何か行動をスタートされていますか？

SDGsを考えてみたい、語ってみたいという方は、「上本町SDGs 大学」に参加してみたいはいかがでしょうか？

「上本町SDGs大学」の詳細はこちら→



NEWS & TOPICS

HAPPY NEW YEAR! 2021年が始まりました。

途上国と日本との往来が困難な状況ですが、PREXでは、新しいツールを積極的に活用し、さまざまな取り組みを継続していきます。今号では、YouTubeや Facebookでのライブ動画配信「e-toco」をご紹介します。在日留学生や日本で働く外国人の方々が働きやすい環境づくりについて、読者の皆さまのご経験やご意見をぜひお聞かせください。お待ちしております。 E-mail: prexhrrd-pr@prex-hrd.or.jp

新たなツールを取り入れ研修を実施！

海外からの来日が難しい状況を受け、PREXの研修事業は一部を除き、対面ではなくオンラインおよびクラウドサービスを活用した形で実施しています。

～今年度初めてのオンライン研修～

【JICAラオス日本センターオンラインプログラム】

(2020年10月9日、12日、14日、15日、19日の5日間)

研修員 21名が参加。

(経営塾第3期生15名、MBA優秀生5名)

+ラオス日本センター職員1名

※ラオスの食品メーカー、建設・デザイン業者、

プライベートスクール、広告代理店の経営者等

委託元:

リロ・パナソニックエクセルインターナショナル株式会社

株式会社 美十からライブ配信の様子

このプログラムでは、京都の株式会社美十からオンラインで工場見学を実施しました。

準備していたスマホのZoomに不具合が起きるトラブルが発生して一時はどうなることかと思いましたが、京都工場長 安福氏のご案内のもとラオスの研修員に工場の様子を届けることができ、研修員からも好評をいただきました。

(国際交流部 山内)



「責任ある外国人労働者受入れプラットフォーム」に貢献！

2020年11月に設立された「責任ある外国人労働者受入れプラットフォーム」は、日本で働く外国人労働者の権利を守り、責任をもって外国人労働者を受け入れることで、外国人労働者から「選ばれる日本」となり、包摂的な経済成長と持続的な社会の実現を目指しています。

PREXは「ビジョン2030」でも持続的な社会の実現、そして関西の国際化におけるダイバーシティの実現を目指しており、その一環として同プラットフォームに加盟しました。

今後はプラットフォームの理念や行動原則を尊重し、外国人社員や留学生を対象とする研修、また<e-toco>、ABCプラットフォーム等の活動を通じて貢献します。

詳細はこちらへ↓

<https://jp-mirai.org/about/>

コロナに負けない

～PREX初！オンライン同窓会を開催～

研修コースリーダーの関西大学経済学部教授 後藤健太氏にご協力いただき、帰国研修員16名が、訪日研修後の近況を報告しました。

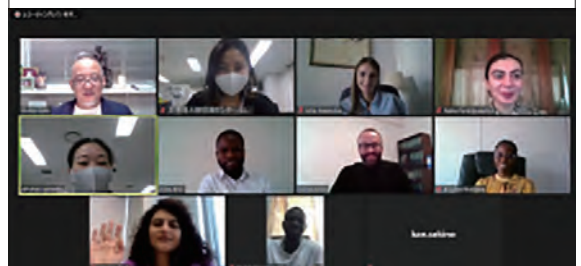
日時: 2020年10月29日(木)/各2時間/3回

場所: オンライン Zoom

帰国研修員が久々の再会に喜ぶ姿や帰国後の成果報告を熱心に行う姿が印象的でした。

他の研修でも「オンライン同窓会」が実施できればと考えています。

(国際交流部 佐賀)



仕事術
内海政嘉

超最速
10倍速くなる！

仕事術を変えれば赤字企業の
ほぼ**100%**が黒字化

2000社以上の経営相談を受け、
協力した90%以上が成長・発展！
【あつた1000社に挑んで1000社
内海政嘉先生メンターの経験】

仕事に役に立つ！ 「ラクして10倍速くなる！ 超最速仕事術」

長年にわたりお世話になっている株式会社クリエイション代表取締役 内海政嘉先生の著書。

局内のカイゼン活動にも役立つ
わかりやすい内容です。

皆さんもぜひ、ご一読ください！

(国際交流部 前田愛)

PREX NOW第262号(2021年1月発行)

編集・発行:公益財団法人 太平洋人材交流センター

専務理事・事務局長:岡本 譲

〒543-0001 大阪市天王寺区上本町8-2-6

大阪国際交流センター2階 TEL.06-6779-2850

ホームページ: <http://www.prex-hrd.or.jp>

E-mail: prexhrrd-pr@prex-hrd.or.jp

企画制作: ユナイテッド・トゥモロー